

特別活動研究会 会報4号

令和4年度 会員数 159名!

KAWASAKI 特活

学級活動 (1) (2) (3) 児童会活動 クラブ活動 学校行事

川崎市立小学校 特別活動研究会

検索



令和4年度 教育課程研究会 特別活動 令和4年6月15日 (水) 川崎市立東高津小学校

2年3組 河内俊介教諭 学級活動 (2) 「学校であんぜんにすごそう」
学級目標『えがおで たすけあう たのしいクラス』



こんにちは!
とっかつどんで〜す!!!



ねらい 学校生活を過ごすうえで、安全に過ごすためにはどのようなことに気を付けなければならないのかについて気づき、解決のために話し合い、自分のめあてをもって実践できるようにする。

- 短冊カードを用いて子どもたちが意欲的に話し合っていた。
- 自分ごと (切実感) のあるテーマで、話し合いを進めることができた。
- 特活は、万能薬にはならない。特効薬でもない。年間指導計画をもとに、計画的意図的に実践していくことが大切。

4年5組 井坂 丈教諭
学級活動 (3) 「自主学習のパワーアップ大作戦」
学級目標『楽しくチャレンジ みんなスマイル4年5組』

ねらい 自主学習の実態を友達と共有し、学ぶことの意義について理解して進んで学ぼうとすることができるようにする。

- 授業は、終末から逆算して組み立てることが大切である。そこからどんな力をつけたいかによって、アンケートや資料の内容が変わってくる。
- よりよいめあてとは、「実践方法が具体的であること」「実現性が高い→ちょっと努力すればできそうなこと」「一つであること」である。そして、児童がためあてを教師が価値付けする必要がある。
- 自主学習となりたい自分のつなげ方が難しい。そのため、取り組む際は工夫が必要である。また、4年生から取り組むことは主体的な学びにつながり、将来的に役立つ。



5年3組 石田健夫 教諭

学級活動(1)「思いやりドッジボールをしよう」
学級目標『元気 チャレンジ 思いやり みんな
で本気 GO 5-3組』

ねらい クラスのみんなが思いやりをもち、みんなが楽しめるドッジボールのやり方を話し合っ
て決めることができるようにする。

- 教室環境、掲示物 今までの集会や学級会の掲
示物を掲示することで、子どもたちの意欲を高
め、校内へ特別活動を広げている。
- 合意形成、多数決の取り扱い方 安易な多数決
は行わないようにしているが、多数決も民主的
な解決方法の一つ。議論を尽くして、それでも
答えが出ないときには多数決を使うのも一つの
方法。
- 講師の助言 声かけのタイミング 「子どもを
信じて任せて しっかりマネジメント」
話し合いがそれてしまったときには、話し合
いのめあてや学級活動に立ち返る。
- 話し合っ
て決まったことは必ず実践！ 実践すること
で話し合いをすることの意味ができる。議題
は、子どもたちに任せても困らないものを選
ぶ。



どの学級の学級
目標もすてきで
すね！

学級会をやりたいけど、議題ってどうしたらいいの？
なかなか集まらないし…。

ちょこっと特活コーナー

話し合いの議題のポイント

その① 子どもたちに任せられる議題を選ぼう！

決まったことによって教師が困るものは議題として適していないかも…。

教育課程に関わるものや、金銭に関わるものはNG！また、クラスとして指導が必要なものは、(2)(3)で指導をしましょう。

その② 子どもたちのつぶやきから、議題化していこう！

なかなか議題が集まらない…集まってもいつも同じようなものになってしまう…とお困りの先生も多いのではないのでしょうか？

集まった議題を子どもたちに提示する前に、計画委員会で話し合っ
て、先生のアイディアも含めて議題化
していくことで、より内容のある議題になりますよ！

